

メ 〇
 令和8年3月19日
 大阪府警察本部少年育成室

大阪府警察本部「少年育成室」による戒橋周辺の環境対策の概要

1 既存の対策【大阪府下】



当室では、継続補導や立ち直り支援活動、街頭補導、情報発信活動等を通じて、問題や悩みを抱える少年を把握し、支援や指導につなげています。

昨年では、継続補導は約600人を対象に実施しており、年間の面接回数は4,000回を超えています。

心理職が心理検査に基づいたプランを作成した上で、警察官と共に継続的な面接を行うなど、専門性を活かした支援活動を実施しています。

2 今年度の取組み（情報発信活動）

(1) カラオケボックスでの相談窓口周知キャンペーン【3月6日】

カラオケボックス協会の協力を得て、大阪府内のカラオケ店約300店舗において、「ポスター」掲示と「コースター」活用による啓発を一斉に実施しました。



また、モデル店舗として「カラオケ館なんば戎橋本店」において、シンセカイヒーローと合同で、啓発キャンペーンを実施し、少年等に直接声かけを行う訪問型相談を行いました。

これらの取組は報道やSNSを通じて広く発信され、繁華街における相談しやすい環境づくりにつなげました。



(2) グリコサイン下での春季啓発イベント（3月6日）

大阪府、大阪市、中央区、地域団体等と連携し、少年相談窓口の周知と非行防止を目的とした啓発イベントを実施しました。

大阪を象徴する場所から「皆で少年を守る」というメッセージを広く発信する取組として実施したものです。

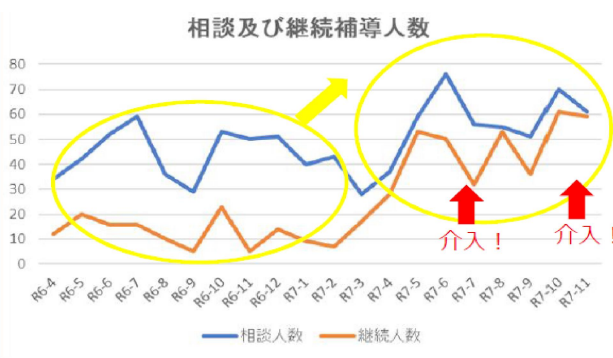


江崎グリコ株式会社の協力により、グリコサインの大型ビジョンを全画面活用した情報発信を行いました。

➤ 大阪府警察副本部長も参加し、少年を守る取組への協力を呼びかけました。

3 取組結果

こうした啓発活動等を継続して実施してきた結果、少年相談件数や継続補導人数は増加傾向にあり、悩みや問題を抱える少年に早期に手を差し伸べる機会につながっています。



LINEから相談窓口 啓発活動

➤ 今度も警察、行政、企業、地域団体等が連携し、少年を地域全体で見守る体制づくりを進めると共に、ミナミの繁華街においても情報発信や啓発活動を継続し、少年非行の未然防止等に取り組んでいきます。

以上